

第 6 回 瑞浪市総合計画審議会
会 議 録

日時：平成 2 5 年 1 0 月 1 6 日（水） 14:00 から 16:00

場所：瑞浪市役所 大会議室

日 程

- 1 会長あいさつ
- 2 協議事項
 - （ 1 ）市民アンケート・学生アンケート・転入者転出者アンケートについて
 - （ 2 ）総合計画基本構想（案）について
 - （ 3 ）総合計画基本計画（案）について
- 3 その他

出 席 者

鈴木	（ 会長 ）
勝股	（ 副会長 ）
安藤	委員
井貝	委員
伊藤	委員
遠藤	委員
大森	委員
奥村	委員
小栗（智）	委員
小栗（美）	委員
柏谷	委員
片桐	委員
田中	委員
永井（恒）	委員
永井（祐）	委員
中山	委員
西尾（治）	委員
西尾（善）	委員
山内	委員
山田	委員

欠席委員

有賀	委員
----	----

大島	委員
近藤	委員
鷲尾	委員

事務局

高橋明範(総務部次長兼企画政策課長)
近藤正史(企画政策課企画政策係長)
有賀大輔(企画政策課企画政策係)
柿内博貴(企画政策課企画政策係)

資 料

資料1 第5回瑞浪市総合計画審議会会議録
資料2 第6次瑞浪市総合計画基本構想(案)
資料3 第6次瑞浪市総合計画基本計画(案)
瑞浪市市民アンケート調査報告書
学生アンケート調査報告書
転入者・転出者アンケート調査報告書

会長あいさつ

第6回瑞浪市総合計画審議会を開催します。今日は計画案がこれまでの審議の成果を反映させたものかどうかの確認をする大事な会議であり、全体のまとめをしていきたいと考えていますので、建設的なご意見をよろしくお願いします。

議 事

(1) 市民アンケート・学生アンケート・転入者転出者アンケートについて

【事務局】

「市民アンケート・学生アンケート・転入者転出者アンケート」の説明

【会長】

ありがとうございました。アンケート結果の報告でした。アンケート結果については、基本構想、基本計画、実施計画に活かしていくとのことでした。意見、確認事項がありましたらお願いします。

【委員】

転入者転出者アンケートについて、問6「瑞浪市を転入先に選んだ理由はなんですか」の転入者の回答が「その他」が29.1%となっています。「その他」の内容について説明してください。

【事務局】

資料9頁に詳細を載せています。「その他」以外の回答では、「通勤・通学がしやすい」という

回答が37.6%で最も多くなっています。

【委員】

問6「瑞浪市にお住まいになって、「暮らしやすい」と思われたのはどんな点ですか」において、転出者の回答が「まちが安全で安心して暮らせる」が44.9%で最も多くなっていますが、転出者は、暮らしにくかったから瑞浪市から出ていった、という理解でよいのですか。

【事務局】

設問の意図としては、瑞浪市から転出した方に対して瑞浪市が暮らしやすかった点を聞いています。その回答として、「まちが安全で安心して暮らせる」と思っていることがわかった、ということです。

【委員】

市民アンケートの回答者の年齢構成と実際の瑞浪市の年齢構成はどのくらい違うのですか。

【事務局】

年齢別に分析はしていませんが、前回実施した市民アンケート回答者の年齢構成について、世代ごとの配布回収数をみると、若い世代の回答率が低く、高齢者の回答率が高くなっています。今回と前回を比較しても、同様になっています。そのため、実際の年齢構成と若干違っていると考えています。

(2) 総合計画基本構想(案)について

【事務局】

「第6次瑞浪市総合計画基本構想(案)」の説明

【会長】

前回までの議論などを踏まえて、基本構想案を取りまとめています。内容について、確認と意見をお願いします。

【委員】

前回も意見をしましたが、瑞浪市を中部圏や東濃地域の中で位置づけてほしいと言いましたが反映されていません。産業においても、瑞浪市だけで完結するものではなく、名古屋市や豊田市などとも関連してくる内容なので、考慮した方が良いと思います。人口も全国的に減少してきており、瑞浪市の人口を維持しようとする、他の市から瑞浪市に来てもらう必要があり、豊田市や春日井市、名古屋市を視野に入れる必要があります。広域で考えるためにJR中央線や国道19号線など軸として考える意味があるので、瑞浪市だけを考えるのではなく、広域を含めた形で考えてほしいです。これからの計画に反映してもらえればと思います。

【会長】

基本構想は、10年を見据えたものであり、その現状分析の捉え方として、広域的な観点が抜けているとの指摘です。基本構想の4頁から計画策定の背景や瑞浪市の捉え方について書かれていますが、中部圏や名古屋経済圏での位置づけの記述が足りないとの指摘です。他に意見はありませんか。

【委員】

20頁の指標の3つ目の市政満足度ですが、この指標が「瑞浪市の現状について不満と感じていない市民」の割合となっていますが、市政満足度指標という表現が適切でしょうか。また、なぜここだけ、「不満と感じていない」割合となっているのでしょうか。アンケート回答をみると、回答の大半が「普通」との回答となっています。数値を正しく捉えると、「満足」、「やや満足」の合計35%程度と考えるのが普通です。上の2つの指標と比較すると、現状値が高くなっています。指標は、高いのがよいのではなく、上がっていくことがよいことなので、見直した方がよいと思います。

【事務局】

瑞浪市について広域的な捉え方をして欲しいとのことご指摘ですが、瑞浪市だけで暮らしを完結させることはできず、それぞれのまちが得意なところを活かし、まちの魅力を高めていければと考えています。瑞浪市では、工業地や観光地としてまちの魅力を活かしていくのではなく、広域的に捉えて、働く場の充実も行いながら、より暮らしを充実させ、極論を言えば、働く場は、名古屋市や豊田市、土岐市で、暮らすなら瑞浪市でといった考えとなっています。

【事務局】

委員からご指摘いただいた市政満足度指標の、「不満を感じていない市民の割合」といった定義は、「普通」と考えている人に満足してもらうことより、今、「不満」と考えている人の不満な点を解消することを第一に考え指標を設定しています。

【委員】

そのような指標の考え方であるならば、住みよさ指標や定住指標もその観点が必要ではないでしょうか。

【事務局】

住みよさ指標、定住指標と市政満足度指標とは違い、市政満足度は、市民の方の施策に対するより直接的な考えが反映されるものと考えており、その不満点については、市の努力で減らしていこうという考えで設定しています。

【委員】

市民アンケートの設問11は「瑞浪市の現状について」となっていますが、市民からみると、市政のことを聞いた設問になっていません。市の考えとして横柄な部分があります。市政満足度を問うのであれば、この設問の回答をそれと捉えるのは問題です。この設問は暮らしについて市

民に問う内容です。

【事務局】

総合的に瑞浪市の現状について満足度を把握しており、包括的な内容の設問になっていきます。いろいろな施策の総合的な捉え方ということで設問を設定しています。

【委員】

市民アンケートの問１６で、幸福度をあげるために重要だと考える施策を聞いています。このような設問をしたからには、市の施策をどうしたらよいのかは、ここで把握することを考えており、総合的な満足度は、先ほどの設問で把握する、との理解でよいですか。

【事務局】

その通りです。

【会長】

他に意見はありませんか。

【委員】

市民アンケートは、うちの息子にも来ていました。彼は家族が円満に暮らしているので、「普通」と回答していました。そこまで回答者は深刻に回答していないのではないのでしょうか。

【会長】

ここも説明の丁寧さに欠けると思います。指標設定の意図があるのならば、その指標の意図を説明する必要があります。委員のご指摘については、事務局と相談して検討します。

（３）総合計画基本計画（案）について

【事務局】

「第６次瑞浪市総合計画基本計画（案）」の説明

【会長】

前回もみなさんをお願いしたのですが、協働のまちづくりの考え方は、皆さんの日常生活に密接に関連しているので、特にここの箇所など意見がありましたら、資料の中に直接ご記入をお願いします。また、行政施策への参加、提言をいただくなかで、行政の役割が改善されていないのに書かれているとか、いろいろご指摘いただければと思います。お分かりになる範囲で結構ですので、赤字で修正を直接、資料にご記入いただければと思います。意味の分からない点など遠慮なく質問をください。

【委員】

市民と団体事業者の区別が分かりにくいと思います。

【事務局】

市民は、個人の方です。団体は、まちづくり協議会とか企業、NPOなど一定の組織を考えています。

【委員】

基本計画は、全頁、同じフォーマットとなっていますが、「めざす姿（生活像）」のところで、まちの状態と市民の暮らしの内容が重複している箇所があるので、一つにまとめてはどうでしょうか。

【事務局】

まちの状態と市民の暮らしについては、似たようなものもあるので、各委員の意見を聞いて検討したいです。

【委員】

分けずに、このような町でこのような暮らしをしているとの記述の方がイメージしやすいです。

【会長】

自分の暮らしがどう変わっていくのか、個人の生活にひきつけた上で考えられるように重複をあえてしている部分もある。市民が自分の目線にひきつけて読んでもらえるかどうかですが、統一した方がいいのかどうか判断は迷うところです。遠慮なく指摘をお願いします。

【委員】

最後に関連計画とありますが、ここで言っても関連計画あるので、そこで決めるとありますが、その辺はどう捉えるのですか。

【事務局】

関連計画はこれまでやってきたまちづくり計画ですので、それにのっとって計画を遂行していきますが、今回の総合計画は最上位計画であるので、今までの計画と方向性が違うとすれば、関連計画が修正されていくべきものですが、現状ではそれはないと思っています。

【委員】

財政推計の説明で、10年後の人口を趨勢人口の35,900人と想定するとありますが、人口は4万人にしたいという目標があるので、矛盾しているのではないですか。

【事務局】

財政推計としては、より現実的に現在のデータに基づくべきであり、こうしたいという目標にもとづいていくと事業の進捗が滞ることも想定されるので、財政推計については、趨勢人口をベースに検討しています。施策効果として人口が増えれば、財政に余裕があるので更に事業に取り

組めます。財政推計については、目標ではなく趨勢人口をベースに考えています。生産年齢人口、年少人口が減り、高齢人口が増えていくという前提で出しています。

【委員】

22頁の消防・防災のところで、防災リーダーの推移の表ですが、24年度は23年度の5倍に増えていますが、具体的に何かあったのですか。

【委員】

24年度に地域の防災リーダー養成講座を開き、各地区市民に声かけしたため、参加が多く、その効果として、地域の防災リーダーが増えました。今後についてもこの取り組みを続けることで、23頁の目標指標に示す300人まで増やすこととしています。

【委員】

消防団の拡充も大事だが、地域の山間部など地元のリーダーとなってもらえる方の充実を考えてほしい。

【会長】

そのような内容を書いてもらえるといいと思います。

【委員】

目指す姿で、市民の暮らしは想像しやすいが、その主語が、市民とか、障がい者とか、畜産業などになっており、市民の視点をどう考えてよいのかわからないです。

【会長】

おかしいところがあればチェックしてもらえないでしょうか。

【委員】

7頁の公共的施設の施設内禁煙率というのは建物内ですか、敷地内ですか。建物内だとすると、63%は低いと思います。

また、6頁ですが、特定健診の受診率が低いと思います。目標は倍増していますが、これは何かしないと上がらないと思います。市民全体の意識がなぜ低いのか。その辺も目標値を立てるのであれば、もっと具体的なものが欲しいです。

【事務局】

禁煙率については、建物内の禁煙です。分煙も喫煙にはいっているので、イメージよりも割合が低いと思われます。公共的施設が121あり、この中には地区公民館なども入っています。その部分については、禁煙分煙などになっていないので、その辺の禁煙も進めていきたいという考えです。国民健康保険特定健康診査については、取り組みはしているが、受診率が低くなっており、60%という目標は国の目標となっているので、瑞浪市もそれを目指すということで目標

を掲げています。

【委員】

基本構想の中の4頁で、ノーマライゼーションという言葉の意味が直後の文と重複しています。

【事務局】

ノーマライゼーションについては、他の委員からも言葉が難しいという指摘がありますので検討します。

【会長】

事務局からの説明、質問の回答はここまでとして、あとは個別に質疑回答をして、ご記入をお願いできればと思います。ここで、本日の第6回の審議については終わるということで理解をお願いします。意見がありましたら、資料へ直接、記述をお願いします。